

## 先週のマーケット動向(6月9日~6月13日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,361.0	1,375.3	1,352.0	1,369.6	+11.2
JPY/KRW	9.3991	9.5776	9.3561	9.5379	+0.046
KOSPI	2,841.56	2,934.31	2,841.39	2,894.62	+82.57

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。週初ドル/ウォンは1,361.0ウォンでオープン。前週の米雇用統計が良好な内容だったことから、米早期利下げ期待が後退し序盤にドル買いが勢いづくも、韓国株式市場への資金流入が堅調だったことで、その後はウォン買いに転じた。10日は1,350ウォンの節目が意識され、安値圏では底堅い値動きとなった。米中貿易協議の進展を期待する中、11日はドル買いが優勢に。12日は人民元高が進行したことで再びウォン買いが拡大するも、13日にイスラエルがイランに空爆を行い、地政学リスクが高まるとリスクオフの動きが拡大し、ドル/ウォンは再度上昇。前週末比+11.2ウォンの1,369.6ウォンでクローズした。(韓国時間15:30)

## 今週の見通し

イラン-イスラエルを巡る中東の地政学リスクを受け、今後の動向を見極める展開か。韓国大統領選以降、韓国株式市場には外国人投資家による資金流入が連日確認されていたものの、リスクオフの展開を受け資金流出に転じると、ウォン安圧力が強まろう。17日までG7首脳会議が開催され、関税・地政学についても議論される見通し。李大統領も出席を予定しており、個別に米国や日本との首脳会談も予定される。関税問題などに関するヘッドラインには注意したい。地政学リスクを受けてドル/ウォンの下落には一服感が出ると見られ、今週ドル/ウォンは反発を試す展開か。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1350 ~ 1380	9.35 ~ 9.65	143.0 ~ 146.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

### \* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



### \* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



## 今後の予定

- 16日(月) 中 5月 小売売上高  
中 5月 鉱工業生産  
米 6月 NY連銀製造業指数
- 17日(火) 米 5月 小売売上高  
米 5月 鉱工業生産
- 18日(水) 米 6月 失業保険新規申請者数  
米 5月 住宅着工件数  
欧 5月 CPI 確報値  
日 5月 貿易統計  
日 4月 機械受注  
米 FOMC 政策金利発表
- 20日(金) 日 5月 CPI  
欧 6月 消費者信頼感指数 速報値